学校番号	3001

令和２年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	２単位	年次	２年次男子
使用教科書							
副教材等	イラストでみる「最新スポーツルール 2018」　（大修館書店出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・集団行動や各種目の中で、能力に応じて基礎・基本的な運動技能・いろいろな体力の要素を高めよう。
・自他の運動を観察し、協力することで興味・関心を高め、運動の楽しさや喜び、一体感を味わおう。
・体育の授業を通して、運動をする・見る・支える・協力するといった関わりを学び、日常生活の中で運動に親しむ態度と習慣を身につけよう。

2　学習の到達目標

・健康・安全に留意して運動する態度を育て、色んな種目を経験することで体を動かすことの楽しさを経験させる。
・生涯にわたって豊かで健康な生活を送るために、それぞれの年代おいて適した運動を日常生活の中に取り入れるための知識を深めるとともに実践する習慣を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全に留意して学習に前向きに取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を冷静に判断できる。 公正で、協力することによってチーム力を上げたり、チーム内で自分の責任を果たすなどの態度を身に付ける。	お互いに教えあうことにより、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 運動を継続することにより、体力や技能向上に繋がることを理解する。 学習で得た成果を実生活に生かせる。	記録や技能向上に挑戦する。 運動の実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性を身に付ける。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、上達の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 スポーツの歴史、スポーツとの関わり方について理解している。
評価方法	受講態度の観察　等	授業態度の観察　等	技能観察　等	体育理論のテスト　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	集団行動　体つくり運動	オリエンテーション 集団行動 新体力テスト 体力を高める運動 (補強運動)	○	○		○	a:体つくり運動の楽しさや心地よさを味わうことができるよう、体力の違いに配慮しようとすること、自己の責任を果たそうとすることなど、健康・安全を確保して学習に自主的に取り組もうとしている。 b:自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 d:運動を継続する意義、運動の原則などを理解している。	受講態度の観察
	水泳	水泳 クロール 平泳ぎ	○	○	○	○	a:水泳の楽しさや喜びを味わうことができるように、マナーやルールを大切にしようとすることや水泳の事故防止に関する心得など、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって水泳に親しむための取り組み方を工夫している。 c:水泳の特性に応じた、効率的な泳法を身に付けている。 d:技術の名称や行い方、体力の高め方を理解している。	受講態度の観察 技能観察
2学期	水泳	1学期と同じ					1学期と同じ	
	球技	ゴール型 サッカー バスケットボール		○	○	○	a:球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にしようとすること、自分の役割を果たそうとすること、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって球技を楽しむための取り組み方を工夫している。 c:球技の特性に応じてゲームを展開するための作戦で仲間と連携する努力をしている。 d:技術や技の名称や行い方、体力の高め方を理解している。	受講態度の観察 技能観察

	陸上競技	陸上競技 長距離走	○	○		○	a:マナーやルールを大切にしようとすることや健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:自己ベストの更新への取り組み方を工夫している。 d:体力の高め方を理解してい	受講態度の観察 技能観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
　　c:運動の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。